

消し忘れて火事にならない … 1ヶ月以上の連続点灯でもOK



アステカ防災スーパーライト

消費電力80Wで明るさ水銀灯3個分以上 国内メーカーと共同開発したLED素子

LED照明選びには、これが重要！

電力の約3割が光に変換されるLED
残りの約7割は熱に変換されるLED

熱が逃げずに
高温になると…

暗くなる
部品が故障する
出火原因にもなる



選定には、連続点灯時間・届く明るさの数値ルクス(lux)を必ず確認ください。

避難所を明るく、
落ち着いて安心できる
場所にしませんか？



消費電力 **80W** で
水銀灯 3 個以上の明るさ

※裏面の事例参照

小型軽量の **約 5 kg** で
この水銀灯クラスの光

春の太陽のように

単一光源で **ギラつかず**
明るく包み込むような光



世界で唯一、
アステカは熱問題を

解決済み



イザッという時だからこそ、
部品調達から製造まで日本の
安心・安全・信頼の高品質

世界が認めた次世代LED技術の



グランツテクノロジー株式会社

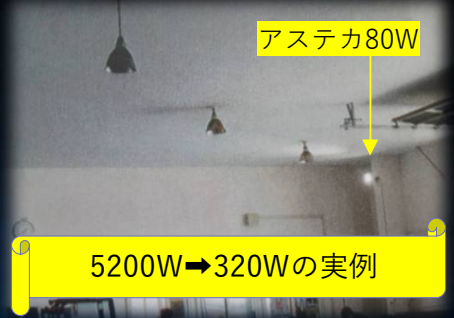


アステカスーパーライトの特徴

- (1) 国際特許取得の「AZTEC自動強制冷却方式」搭載で**高温問題を世界で初めて解決**
- (2) グランツ特注の**最新式国産COB型LED**素子搭載による高輝度で**単一光源**の優しい光
- (3) LED照明の最大の故障原因は熱によるチップの劣化… **アステカは高温にならないから長寿命**



天井の13台の水銀灯400Wを
四隅から4台のアステカ80Wで代替



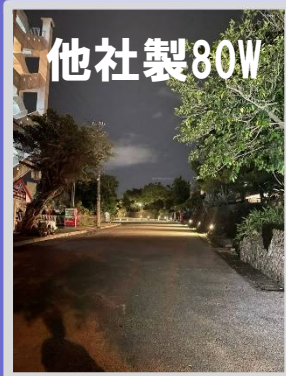
アステカ80W

5200W→320Wの実例

非常時の暗い足元や廊下もシッカリ照らせます。

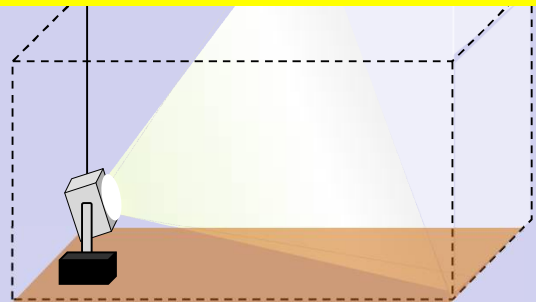


アステカ80W



他社製80W

アステカの光は非常に明るいため、
照らす空間の広さに合わせ、1~4台の
間接照明での使用をお勧めしています。

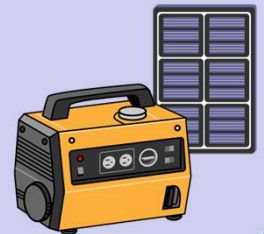


アステカ防災スーパーライト 80WD	
LED数 (COBタイプ)	日本製 最新COB x 1
特許技術 (国際特許)	「AZTEC自動強制冷却方式」 - ファンレス冷却
器具光束	12,249 lm
1 m先 概算照度	18,300 lux
3 m先 概算照度	2,633 lux
5 m先 概算照度	944 lux
10m先 概算照度	269 lux
相関色温度	5,000K
平均演色評価数	Ra 80
調光インターフェース	本機：無 / 電源装置：電流調整による一定の調光は可
電源装置 定格電圧	100V~240V ※PSE取得
絶縁方式	入出力絶縁型
耐雷サージ	IEC-61000-3-2 Line, Line-FG 6kV, Line-Line 3kV 判定基準B
耐水性能	IP66相当
電源部IP等級	IP67 ※直接の風雨及び直射日光を避けてご使用下さい。
連続点灯許容時間	連続点灯 1,000時間 (社内検証試験) またはそれ以上
使用温度範囲	-25℃ ~ 40℃
本体	アルミダイカスト製、重耐塩化仕様
照明前面カバー	ポリカーボネート又は強化ガラス
本体外形寸法 (L W H)	252 x 395 x 230 / 186 x 150 x 179 (照明部のみ)
電源部外形寸法 (単位mm)	215 x 75 x 44
本体重量	5.2kg / 3.2kg (照明部のみ)
消費電力	80W (100V)
入力電流	0.86A (100V)
環境規制	RoHS対応
保証	製品：3年 / LED素子寿命：素子メーカー保証 最大80,000時間
付属品	10スパナ x 2、スイッチ付延長コード、耐震ゲル x 4



例えば、左はAC100VとUSB電源
が取れる80Wh規格のポータブル
充電器ですが、フル充電1回で、
本機は1時間点灯できる計算にな
ります。

本機は消費電力80Wで
水銀灯3個分以上の
明るさ。PVパネルが
あれば、非常時の夜も
明るく安心です。



LED光源普及開発機構会員
企画・開発・製造・販売元 JLMA日本照明工業会会員
東京商工会議所会員

GZT グランツテクノロジー株式会社

〒125-0042 東京都葛飾区金町6-2-1
ヴィナシス金町タワーレジデンス1311
Tel. 03-6657-1770 Fax. 03-6657-1770
e-mail: glanz-tech@ecoglobe21.org



お問い合わせ

【補足説明】

本体および電源部には電源スイッチがありません。
電源のON/OFFは、付属品の延長コードのスイッチにて行います。

本体は安定していますが、付属品の耐震ゲルは必要に応じて本体底の
四隅に貼ってご使用ください。

【注意事項】

照明部が熱を帯びてくると自動的に背部の四角い穴から吸気、排気を行って強制排熱しますので、絶対に上下の穴を塞がないでください。

本体および電源部への直接の風雨や直射日光は避けてください。